

公益財団法人 日本バレーボール協会  
第11期・2020年度事業報告  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 事業の概況

今年度は、前年度に発生した新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定されていた2020オリンピック・パラリンピック東京大会（以下「東京2020大会」という）が1年延期されたことを始め、ほとんどの大会が中止または大幅な制限を受けた中で、すべてのカテゴリーの日本代表チームが活躍の場を失ってしまい、大変厳しい一年となった。

(1) 今年のトピックス

- ① 東京2020大会のテストを兼ねた有明アリーナテストマッチが中止となった。
- ② 第3回バレーボールネーションズリーグ（VNL）が京都府、富山県にて開催予定であったが中止となった。
- ③ 天皇杯・皇后杯は都道府県ラウンド、ブロックラウンドを中止し、ファイナルラウンドの決勝戦のみ観客を入れて開催した。
- ④ 緊急事態宣言の発令などにより、3度にわたり事務局を閉鎖した。（3/31～5/31、8/4～8/16、1/13～3/21）

(2) 決算について

今年度はオリンピックの年として強化に全力を尽くすための赤字予算を計上したが、東京2020大会の延期に伴い事業を大幅に縮小した補正予算を計上した。その後もコロナ禍収束の目途が立たなかったためほとんどの事業の中止、大幅な縮小に至り、収入も大幅に減少したが、支出の減少がそれ以上に大きかったこと、大幅な社債の評価益が生じたことなどから最終的に黒字決算となった。

収入面では、当初予算2,274百万円から58%減の949百万円となり、支出面では当初予算2,546百万円の66%減の871百万円となった。前年に計上した社債の評価損の影響で今年度は評価益を131百万円計上したため、税引き後の最終利益は209百万円となった。

★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ビーチバレーボールツアー
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération Internationale de Volleyball)
JADA	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

## 2. 事業内容

### (1) 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

#### ①各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言による活動禁止、自粛の影響を受け活動は限定されたものとなった。

#### 1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

東京 2020 大会の延期、世界転戦型の VNL は中止。

「2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ ～TOKYO CHALLENGE CUP～」も中止となった。

■男子：国内合宿・NTC を中心に実施

海外合宿・全て中止

■女子：国内合宿・NTC を中心に実施

海外合宿・全て中止

注) 日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本を代表するチーム

#### 2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

男子は8月にミャンマーで開催予定だった AVC カップ中止。

女子は6月に中国で開催予定だったアジア東部地区選手権大会中止。

2021年ユニバーシアード中国成都大会(2年に1回開催)も開催延期が決定。

■男子：国内合宿・全て中止

■女子：国内合宿・全て中止

注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム

#### 3) 男子 U-20・女子 U-19 日本代表チーム強化合宿

男子は6月にイランで開催予定だった U-20 アジア選手権中止。

女子は6月に中国で開催予定だった U-19 アジア選手権中止。また、9月に台北で開催予定だった AVC カップ中止。

■男子：国内合宿・全て中止

■女子：国内合宿・全て中止

注) 男子 U-20・女子 U-19 チームとは、男子が 2001 年 1 月 1 日以降に、女子が 2002 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

#### 4) 男子 U-18・女子 U-17 日本代表チーム強化合宿

男子は7月にバーレーンで開催予定だった U-18 アジア選手権中止。

女子は9月にタイで開催予定だった U-17 アジア選手権中止。

■男子：国内合宿・全て中止

■女子：国内合宿・全て中止

注) 男子 U-18・女子 U-17 日本代表チームとは、男子が 2003 年 1 月 1 日以降に、女子が 2004 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

#### ②競技活動を行う選手の新型コロナウイルス感染防止下での競技・練習等に関する情報提供

#### ③将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

#### 1) 全国小学生・中学生・高校生身長身選手の発掘育成事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言による活動禁止、自粛の影響を受け全事業中止。

④競技力向上にかかわるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

- 1) 日本代表選手の体力測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方 of 立案を提言した。
- 2) 日本チームとの対戦が想定される外国チームの戦力を掌握した。
- 3) トレーナーの育成、教育を行い、日本代表チームに派遣した。
- 4) 日本代表及び年代別日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配した。
- 5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかった。

⑤各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

国際大会派遣事業 全て中止

<予定されていた国際大会は以下>

■男子：

シニア日本代表

- ・2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～  
4/21～4/25 東京・有明アリーナ
- ・FIVB VNL 2020  
5/22～7/5 中国／ブラジル／京都／富山／ブルガリア／イタリア（ファイナル）
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)  
7/24～8/9 東京・有明アリーナ

年代別日本代表

- ・U-20 アジア選手権  
6/21～6/28 イラン
- ・U-18 アジア選手権  
7/7～7/15 バーレーン
- ・AVC カップ：学生選抜チーム  
8/22～8/30 ミャンマー

■女子：

シニア日本代表

- ・2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～  
4/22～4/26 東京・有明アリーナ
- ・FIVB VNL 2020  
5/19～7/5 中国／ブラジル／カナダ／アメリカ／富山／中国（ファイナル）
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)  
7/24～8/9 東京・有明アリーナ

## 年代別日本代表

- ・U-19 アジア選手権  
6/20～6/28 中国
- ・アジア東部地区選手権  
7/14～7/19 中国
- ・U-17 アジア選手権  
9/5～9/13 タイ
- ・AVC カップ：ジュニア選手を中心にパリオリンピック候補選手を派遣計画  
9/19～9/27 チャイニーズタイペイ

## (2) 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

### ①国際大会開催事業

#### 1) 2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～

- 開催期間：4月21日（火）～26日（日）
- 開催都市：東京都江東区（有明アリーナ）
- 参加国：【男子】日本、オーストラリア、中国、韓国  
【女子】日本、中国、チャイニーズタイペイ、タイ  
(選手団160人、競技役員20人、計180人が参加予定)
- 試合数：延べ12試合《1日2試合×6日》

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止を決定した。

#### 2) FIVB VNL 2020

FIVB VNLは、参加権を与えられたコア12チームにチャレンジャー4チームが加わり、2018年からスタートした世界転戦型のリーグ戦方式の大会。2018年に第1回大会が行われ、2024年までは、男女日本代表チームはコア12チームのひとつとして参加資格を与えられている。

##### ■FIVB VNL 2020 男子京都大会

- 開催期間：6月5日（金）～7日（日）
- 開催都市：京都府京都市（島津アリーナ京都）
- 参加国：日本、アルゼンチン、オーストラリア、イタリア  
(選手団80人、競技役員10人、計90人が参加予定)
- 試合数：延べ6試合《1日2試合×3日》

##### ■FIVB VNL 2020 男子富山大会

- 開催期間：6月12日（金）～14日（日）
- 開催都市：富山県富山市（富山市総合体育館）
- 参加国：日本、カナダ、ドイツ、ポーランド  
(選手団80人、競技役員10人、計90人が参加予定)
- 試合数：延べ6試合《1日2試合×3日》

##### ■FIVB VNL 2020 女子富山大会

- 開催期間：6月16日（火）～18日（木）

- 開催都市：富山県富山市（富山市総合体育館）
- 参加国：日本、ドミニカ共和国、ドイツ、セルビア  
（選手団 80 人、競技役員 10 人、計 90 人が参加予定）
- 試合数：延べ 6 試合《1 日 2 試合 × 3 日》

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、国際バレーボール連盟により同年度内に延期を発表されていたが、再検討され中止となった。

## ②国際貢献・交流事業

### 1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

FIVB、AVC の総会および競技運営、審判規則、医事ほか各種委員会の委員としてリモートによる会議に出席した。本年は、FIVB および AVC 主催の大会が新型コロナウイルス感染症拡大により、大会が中止となり役員および審判員の派遣はなかった。

### 2) バレーボールバンク事業

自国におけるバレーボール普及発展のため用器具等の補助が必要な国に対し、競技会やトップバレーボールチームが使用したボール、その他バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、国際社会におけるスポーツ振興に寄与した。併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会（NF）との友好を結び、連携強化を図った。

### 3) 国際移籍（International Transfer Certificate）

FIVB が定める手続きに従い、国内リーグでプレーする外国籍選手および海外リーグでプレーする日本人選手の承認を NF として行った。国内リーグ所属チームのサポートも含む。日本人選手については、US1,000 ドルの移籍金を徴収した。

## (3) 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

### ①競技者拡大

近年の競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、特に小学生、中学生が著しく減少しており、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業のリニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を設定し、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、新規事業を立ち上げ競技者拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言により、以下の事業の中で、一部の事業のみを開催した。

#### 1) V リーグ選手と一緒にバレーボール教室

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言により下記事業中止。

⇒小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、V リーグ選手が参加してのバレーボール教室。

#### 2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言により下記事業中止。

⇒中学1年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの植え付けと共に、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会。

### 3) 全国小中一貫バレーボール教室事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言により下記事業中止。

⇒小・中学生合同の参加による一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的とした教室。

### 4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言により下記事業中止。

⇒ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業。

### 5) アンダー10 大会促進事業

JVA 感染防止ガイドラインをもとに、緊急事態宣言時以外の期間で全国5か所（大阪府、滋賀県、岡山県、高知県、長崎県）で下記事業を開催。

⇒小学4年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリーでのバレーボール継続を促進。

## ②指導者養成事業

以下の事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症のため各事業を中止とした

◆各種別の指導者を対象に以下の主な養成講習会等を開催

- 1) 公益財団日本スポーツ協会からの受託事業として、日本スポーツ協会公認コーチ4・コーチ3・コーチ2・コーチ1、バレーボール専門教科認定講習会等、資格取得に向けたバレーボール専門科目の講習会
- 2) JVA 公認講師認定講習会は、JVA が開催する講習会・研修会の講師を務める指導者を対象とした認定講習会
- 3) 全国小学生バレーボール指導者第一次・第二次講習会
- 4) 大学生バレーボール部員対象指導者講習会（コーチI 専門科目）
- 5) ソフトバレーボール指導者リーダー及びマスターリーダー認定講習会

◆各種別の指導者を対象に以下の主な研修会を開催

- 1) 都道府県別バレーボール指導者を対象として資質向上を目的の研修会
- 2) JVA 公認講師研修会及び公認指導者を対象としたスキル向上のための研修会
- 3) 全国中学生バレーボール指導者を対象とした研修会
- 4) ビーチバレーボール指導者を対象とした研修会

## ③審判員等養成・育成事業

新型コロナウイルス感染症拡大により、FIVB 国際大会およびアジア連盟主催の大会等が中止となったため、国際審判員の派遣はなかった。また、バレーボール審判員の技術向上と育成・養成を目的に、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判員講習会および研修会を計画

していたが実施に至らなかった。

【6人制】	実施状況	開催地・会場等
全国ラインジャッジ・クリニック	中止	丸善インテックアリーナ大阪
国際審判員（S1 レフェリー）技術強化事業	中止	丸善インテックアリーナ大阪
6人制 S1 レフェリー認定会	中止	サマーリーグ開催時
6人制 S3 レフェリー技術強化事業	開催せず	全国各ブロックで開催
A級審判員講習会（AC キャンプ）	中止	大阪（3泊4日）
B級審判員講習会（B レフェリーキャンプ）	中止	大阪（2泊3日）
A級審判員技術強化事業	中止	東京都他
全国6人制審判講習会	中止	東京（慶応義塾中等部）
【9人制】		
N1 レフェリー認定会	中止	大阪（予定）
N2 レフェリー技術強化事業	中止	全国各ブロックで開催
A級審判員研修会	中止	大阪（住友電工）
審判員育成事業	中止 中止	愛知（一宮市） 徳島（徳島市）
全国9人制審判講習会	中止	大阪（予定）
【ビーチバレーボール】		
B1 レフェリー認定会	中止	未定
B2 レフェリー技術強化事業	中止	全国各ブロックで開催
A級審判員研修会	開催せず	未定
特別A 審判員講習会（AC キャンプ）	中止	兵庫（明石市）
全国ビーチバレーボール審判講習会	中止	神奈川（予定）
■女性審判員育成事業	中止	未定
■新規【障害者対象審判員資格取得講習会】	開催せず	未定

#### ④ 審判員資格認定事業

2020年度は、資格取得審査講習会受講者を対象にしたACレフェリーキャンプと2021年度開催予定のA級審判員資格審査講習会に参加予定のB級審判員を対象としたB級レフェリーキャンプを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、講習会を開催できなかった。また、新規事業として、障害者対象の審判員資格審査会の実施も検討していたが次年度以降の事業として計画することにした。

- A級審判員    ○A級候補審判員    ○B級審判員    ○C級審判員  
○ビーチバレーボール審判員    ○障害者対象審判員

#### (4) 全国大会等国内競技会開催事業

##### ①天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

国内最高峰の大会として位置づけられている本大会は、例年4月からの都道府県ラウンド、9月からのブロックラウンドを経たチームとV.LEAGUEのD1全チームを含めた24チームで開催していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況により、都道府県ラウンドおよびブロックラウンドを中止とした。なお、ファイナルラウンドは、V.LEAGUEのD1全チームと各カテゴリー（V2、クラブ、学連）からの推薦により男子16チーム、女子18チームの

参加を得て開催した。

■ファイナルラウンド：(34 チーム参加)

開催期間：12月11～13日(1回戦～準決勝)リモート(無観客での開催)

12月19～20日(男女決勝) 収容率50%にて開催

開催地：12/11-13 東京都調布市 武蔵野の森総合スポーツプラザ

12/19-20 東京都大田区 大田区総合体育館

優勝 男子：ジェイテクトSTINGS(初優勝) 女子：JTマーヴェラス(初優勝)

※会場内での徹底した新型コロナウイルス安全対策として下記の取り組みを実施した。

A 体調チェック管理(ONE TAP SPORTS)を活用。(大会期間中、大会終了後2週間)。

B PCR検査の実施(選手・チームスタッフ、主審・副審)。

C 健康チェックシートの提出(大会関係者全員)。

D 観客には、入場の際に非接触型体温計とQRコード読み取りでのチケット対応。

E 非接触型体温計を設置し、選手・スタッフと競技役員のゾーニング。

F 競技備品、チームベンチ、控室等の消毒の徹底。

G 入館時間の設定とソーシャルディスタンスの徹底。

②全日本小学生大会(男女・混合大会)

8月に開催を予定していた第40回記念全日本バレーボール小学生大会は、新型コロナウイルス感染拡大により都道府県予選大会および全国大会を中止した。

③秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

男女各36チームの参加にてスタートしたが、新型コロナウイルス感染の判明により、10チームが参加できなかった。

■第73回秩父宮賜杯・第67回秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

開催期間：11月30日～12月6日

開催地：東京都(大田区総合体育館 他)

優勝 男子：早稲田大学(4年連続8回目) 女子：鹿屋体育大学(4年ぶり4回目)

④JOCカップ全国都道府県対抗中学大会

12月に開催を予定していたJOCジュニアオリンピックカップ第34回全国都道府県対抗中学バレーボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大により大会を中止した。

⑤ジャパネット杯春の高校バレー第73回全日本高等学校バレーボール選手権大会

インターハイが中止となり、何とか大会を開催しようと全国高体連専門部と東京高体連、春高事務局とが何度も打合せを行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらリモート(無観客)で開催した。

開催期間：2021年1月5～10(1回戦～決勝)

開催地：東京都(東京体育館)

優勝： 男子：東福岡高校(5年ぶり3回目) 女子：就実高校(25年ぶり3回目)



⑥上記の各競技会に加え、JVA 主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により大会を中止した。

大会名	実施状況	開催地
第6回全日本9人制トップリーグ女子(開催)	11/13~16	広島市
第6回全日本9人制トップリーグ女子ファイナルR	中止	津市
第6回全日本9人制バレーボールトップリーグ男子	中止	江東区・熊本市
第72回全日本9人制実業団女子選手権大会	中止	松江市
第73回全日本9人制実業団男子選手権大会	中止	松江市
第40回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	中止	神戸市
第40回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	中止	新潟市
第19回全国社会人東ブロック男女優勝大会	中止	一宮市
第19回全国社会人西ブロック男女優勝大会	中止	徳島市
第89回全日本9人制総合女子選手権大会	中止	大阪市
第90回全日本9人制総合男子選手権大会	中止	大阪市
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会(地域リーグ)	中止	全国各地
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会(東西決勝リーグ)	中止	未定
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会(グランドチャンピオンマッチ)	中止	未定
第69回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	中止	大阪市
第40回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	中止	大阪市
第40回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	中止	天童市・山形市
第23回全国ヤングクラブ優勝大会	中止	大阪市
第28回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	中止	三沢市
第22回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	中止	福島市
第9回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル	中止	函館市
第5回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	中止	秋田市
第11回全国ヴィンテージ8's交流大会	中止	函館市

⑦公益財団法人日本スポーツ協会との共催で開催予定であった下記大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のために中止となった。

1) 国民体育大会バレーボール競技(延期)

日程: 10/4~7 開催地: 鹿児島県鹿児島市・いちき串木野市・鹿屋市

2) 日本スポーツマスターズ2020(中止)

日程: 9/18~22 開催地: 愛媛県松山市

⑧公益財団法人全国高等学校体育連盟等との共催で開催予定であった下記大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のために中止となった。

- 1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技 (中止)  
日程：8/20～24 開催地：茨城県結城市・筑西市・古河市
- 2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技 (中止)  
日程：8/20～24 開催地：栃木県宇都宮市・小山市
- 3) 全国高等学校定時制・通信制大会 (中止)  
日程：8/12～15 開催地：神奈川県平塚市

⑨公益財団法人日本中学校体育連盟等との共催で開催予定であった下記大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のために中止となった。

- 1) 全日本中学校バレーボール選手権大会 (中止)  
日程：8/17～20 開催地：静岡県静岡市

#### (5) V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

V リーグ機構が主催する V. LEAGUE の開催においてバレーボール界の普及・発展のために大会運営およびバレーボール教室などの事業を連携して実施した。

また、全国各地で開催される V. LEAGUE に、競技運営責任者 (JURY) と審判員を派遣し直接大会運営に携わった。

#### (6) 加盟団体との連携強化

本会の加盟団体および全国的に組織されたバレーボール競技団体の選手の発掘・育成および強化を図る目的で、国内大会における MRS 登録に関するサポートや競技役員の派遣を通じて、各種事業に対しての支援を行った。

#### (7) ビーチバレーボール事業

##### ①競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

- 1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

□東京 2020 大会ビーチバレーボール日本代表決定戦

東京 2020 大会ビーチバレーボール競技の開催国枠日本代表チーム選考会として5月に開催する予定であったが、東京 2020 大会延期に伴い中止となった。

尚、2021 年度には以下の日程での開催により優勝した男女各 1 チームを日本代表チームとして内定する。

##### 【女子】

- ・開催日：2021 年 5 月 22 日 (土)・23 日 (日)
- ・会 場：ドーム立川立飛 (東京都立川市)
- ・参加チーム：最大 6 チーム・ダブルエリミネーション方式

##### 【男子】

- ・開催日：2021 年 6 月 5 日 (土)・6 日 (日)
- ・会 場：TACHIHI BEACH (東京都立川市)
- ・参加チーム：最大 6 チーム・ダブルエリミネーション方式

□コンチネンタル第3 フェーズ大会

東京 2020 大会出場権獲得のために男女各 2 チームを派遣。優勝チームにはアジア代表出場権が与えられる大会であったが東京 2020 大会延期により中止となった。

□東京 2020 大会はコロナ禍により 2021 年度に延期

□FIVB ワールドツアー (2020 年 4 月～2021 年 3 月まで世界各地で開催)

コロナ禍により開催予定大会が中止、延期となった。唯一、下記の大会に出場する  
〔女子チーム〕

□WT カタール大会 5/8～12 (4 Star)

長谷川暁子・二見梓 (33 位) /西堀健実・溝江明香 (33 位)

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

□コロナ禍により以下の大会が中止、延期となった

①世界大学選手権②U19 アジア選手権③U 1 9 世界選手権

□将来有望選手の発掘、育成、強化を目的に、計画的な発掘・育成を通じた長期的な強化を目指して「ハイポテンシャルアスリート」により、高校生、大学生を取り入れた強化計画に加え、新たに JSC (日本スポーツ振興センター) 主催の「J-STAR プロジェクト」に参画。他種競技選手からのビーチ転向選手、インドアバレーからのビーチ転向選手を募り、強化スタッフによるマリエンコートでの合宿、出張指導を目指していく。

②講習会開催事業

1) ビーチバレーボール審判講習会

ビーチバレーボールの審判員・競技者およびビーチバレーボール選手及び指導者を対象に、ブロック審判講習会や指導者研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために開催できなかった。

講習会・研修会名	開催状況	開催地
ビーチバレーボールブロック審判講習会	中止	茨城県、福井県
ビーチバレーボール審判員研修会	中止	神奈川県川崎市
A級審判員研修会 (ビーチバレーボール)	中止	大阪府岬町
ビーチバレーボール指導者研修会	中止	—
全国ビーチバレーボール審判講習会	中止	神奈川県

③全国大会等国内競技会開催事業

1) ジャパンビーチバレーボールツアー

2016 年度より、これまで JVA が主催した「シリーズ A」と日本ビーチバレーボール連盟が主催した「JBV ツアー」を統合し、「ジャパンビーチバレーボールツアー」として大会を新設した。

日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の発展と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、4～10 月を基本に全国各地で大会を開催するべく準備を進めた。また興行化、集客力の増大を目指して大会構造の見直しを行い、トップツアーにあたる「BVT1」については都市および観光地などでの開催を主とし、普及やアンダーエイジカテゴリー大会を中心とした「BVT2・3」との連携を強化し、ビーチバレーボール全体

の普及発展に寄与することを目指した。

しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響で、以下の1大会を除き、グランフロント大阪でのツアーファイナルを含め中止にせざるを得なかった。

大会名等	開催期間	開催都市
第1戦 立川立飛大会	10/31～11/1	東京都立川市

## 2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技（正式競技）

本大会も新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

大会名等	開催期間	開催都市
第75回国民体育大会	延期	鹿児島県曾於郡大崎町

## 3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会も第32回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会を除き、新型コロナウイルス感染拡大の影響で以下の通り中止にせざるを得なかった。

大会名等	開催期間	開催都市
第32回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	9/5～6	兵庫県明石市
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	中止	愛媛県伊予市
第19回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	中止	大阪府阪南市
第34回ビーチバレージャパン	中止	神奈川県藤沢市
第31回全日本ビーチバレー女子選手権大会	中止	大阪府泉南郡岬町
第11回全国中学生ビーチバレー大会	中止	神奈川県藤沢市

## (8) マーケティング事業

JVAの事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値およびJVAが所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVAの事業に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向け、積極的に活動を行った。

## (9) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行った。

また、公認審判員に対して、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨した。

## (10) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの方々に、ルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフ

トバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を販売した。なお、2021年度版は昨今の状況を踏まえ制作見合わせとした。

#### (11) 肖像使用・物品販売による事業の財源を獲得する事業

事業を安定的に推進するべく、以下の2事業を行った。

##### ① 肖像使用許諾事業

JVA 登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入を得て、一定額を肖像が使用された選手等に配分した。

##### ② バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、見る、する人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行った。

#### (12) 東京 2020 大会準備室

東京 2020 大会におけるバレーボール競技、ビーチバレーボール競技及びシッティングバレーボール競技の成功と盛り上げに向け準備室は、「アスリートファースト」及び「レガシー」を念頭にスポーツ庁や東京都、そして公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及びFIVBとの連携と協同作業を行い、競技施設、競技運営、テストイベント、事前キャンプにかかわる諸準備を推進した。

① 2020年4月に有明アリーナにてバレーボール競技のテストイベントを開催する予定であったが、東京2020大会の延期に伴い、テストイベントも延期された。

② ビーチバレーボール競技役員の研修会をWEB等、活用し実施した。

③ 2021年度に延期となった東京2020大会の告知・プロモーションを計画し、オリンピックムーブメント醸成に力を注いだ。

④ パラリンピック競技(シッティングバレーボール競技)については、一般社団法人日本パラバレーボール協会と連携を取りながら協力をした。

#### (13) その他の重点項目

① JVAは公共性の高いスポーツ団体として、スポーツ庁において策定された「スポーツ団体ガバナンスコード(中央競技団体向け)」を理解した上でガバナンスの確保に努めた。また、スポーツ団体ガバナンスコード(中央競技団体向け)の遵守状況を具体的かつ合理的に自己説明および公表を行なった。

特に、体罰・暴力・ハラスメントの撲滅については、対策委員会でアクションプランの更新を行った。また、教育活動の1つである「グッドコーチングセミナー」を集合しての開催ができなくなったため、その代わりにホームページに「グッドコーチングセミナー」の動画をアップした。

② MRS(JVAメンバー制度登録システム)については、バレーボールを愛するすべての方々に参加いただける、バレーボールファミリー会員制度(仮称)を構築し、将来に向けてリニューアルを検討した。

③ 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。

日本代表選手やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図った。また、JADAから提供されるe-ラーニ

ング等のデジタルコンテンツを活用した教育活動を行った。  
今後も競技者のみならず来場者等第三者へのアウトリーチプログラムを推進し、幅広い年齢層・カテゴリーへのアプローチを模索していく。

以上